

Care & Maintenance

A guide to extending the
life of your Artek products



artek



Content

はじめに	→ Page 4
木製家具の取り扱いについて	→ Page 6
ラミネートについて	→ Page 10
リノリウムについて	→ Page 14
ファブリックについて	→ Page 16
レザーについて	→ Page 20
ウェビングについて	→ Page 22

はじめに

このケア&メンテナンスガイドは、アルテックの家具のお手入れについて記載しています。このガイドに沿って使用していただくことで、お気に入りの製品を、より長くお使いいただけます。

アルテックの製品は、何十年も前から、年代によってさまざまな製造方法によって生産されてきました。このガイドでは、現在アルテックが使用している材料や、表面加工について記しています。過去に作られた製品も現代の製品と同じようにお手入れが可能です。が、一部の古い製品についての修復は、修理の専門家にご相談いただくか、info@artek.fiまでご連絡ください。

アルテックの家具のほとんどは、屋内使用を想定して作られています。屋外使用の可能な製品はカタログやホームページでご確認いただけます。屋内での使用であっても、暖炉やストーブなど、熱源の近くに置かないでください。また、湿度変化の大きい場所にも注意が必要です。





木製家具の取り扱いについて

木は生きた素材

木材を用いて作られた家具はすべて一つ一つ個性があります。バーチ材の色や木目は、昆虫のかじった跡、使用する幹の位置、生育地や木材の乾燥方法など、さまざまな要因によって個々の表情が生まれます。

アルテックの製品に使用する木材はできる限り均一な色の出方の木材を選んでいますが、持続可能な生産と、材料の廃棄を最小限に抑えるためには、ある程度の個体差は避けることができません。我々は、それぞれの個体にあらわれる木目の違いは、バーチの持つ最も美しい特徴のひとつだと考えています。長い時間をかけて育成された木材にはステイン仕上げなどの染色を施した場合の色の付き方にも違いがあります。

バーチやその他の木材は、大気中の湿度の変化により、膨張、収縮する素材です。湿度変化が原因の膨張、収縮によって、製品の形状や寸法は多少変化する事があります。アルテックのすべての木製の製品は、可能な限り品質が一定に保てるよう、乾燥した場所で、湿度管理の下、製造されています。製造中の原材料の選択、処理、保管には最新の注意を払っていますが、工場から出荷された後、製品は湿度変化にさらされ続けます。

フィンランドでは、季節によって湿度が大きく変動することがありますが、屋内でも同様に湿度の変化は避けられず、湿度の変化を完全にコントロールする事は不可能です。

ラッカー塗装とステイン仕上げ

仕上げにラッカー塗装をすることによって、小さな傷はほとんど目立たなくなります。アルテックの家具は、耐久性を上げるため、表面にラッカー塗装が施されています。ステイン仕上げは、自然の木目をみせながら、着色をする仕上げの方法です。クリアラッカーや薄い色のラッカー塗装は、少しずつ経年変化し、味わいを増していきます。

日常のお手入れについて

定期的なお手入れとして、少量の中性洗剤を使用し、硬く絞った布で表面を拭いてください。水拭きの後、表面の水分を取り除くため空拭きをしますが、擦りすぎないように注意してください。家具の上に長時間電化製品を置いて使用する際には、ゴム製やフェルト製の敷物を使用してください。色のついたラッカー塗装の場合、クリアラッカーよりも傷が目立つ場合があります。

汚れの落とし方

水拭きをしてもきれいにならない場合は、中性洗剤を使用してください。ミネラルスピリットまたは変性アルコールを使用すると、水では落せない汚れを落とすことができます。しかし、これらの溶剤を使用することで製品にダメージが生じる場合もあるため、使用する前には必ず目立たないところでテストをしてください。汚れが落ちた後は、湿らせた布で表面を拭いて乾かします。金属やゴムによってできた黒い汚れは、消しゴムで取り除くことが可能です。

避けていただきたいこと

- ✕ 強く擦ること
- ✕ 特定の箇所に強い摩擦をかけると、表面の塗装が不均一になる場合があります 研磨すること
- ✕ メラミンスポンジなどを含む研磨剤の使用
- ✕ 強アルカリ性や酸性の洗剤の使用
- ✕ アセトンやシンナーなどの強力な溶剤の使用
- ✕ はがしにくいワックスの使用
- ✕ 高温の物を載せること
- ✕ 大量の液体をこぼしたり、拭き取らずにそのまま放置すること
- ✕ コーヒーや赤ワインなど、染みのできやすい液体をこぼすこと
- ✕ デニムなど、色が移りやすいファブリックの使用
- ✕ 薬用クリームなどの強力な薬剤の使用（引っかけ傷のできてしまった個体には、オイルや汚れが木材に吸収される場合があります）
- ✕ 温度と湿度の極端な変化がある環境での使用



ラミネートについて

アルテックの家具には、ハイプレッシャーラミネート（HPL）を使用しています。ラミネート素材は、溶液を浸した特殊な多数の紙を数十枚重ね、フェノール樹脂を加えて高温高圧縮をかけて製造されています。中でも、白いラミネートのIKI White HPLは、アルヴァ・アアルトが当時使用していたものに基づき、通常よりも厚さがあり、より白さを追求して作られたラミネート素材です。ラミネートは、耐摩耗性と耐久性のあるお手入れのしやすい素材です。

日常のお手入れについて

毎日のお手入れとして、湿らせた柔らかい布で表面を拭いてください。ラミネートの表面は、研磨剤を含まない中性洗剤を使用してください。水拭きの後、表面の水分を取り除くため空拭きをしてください。特にラミネートと木の継ぎ目を必ず乾かすようにしてください。ラミネートの上で素焼きの陶器を使用すると、ラミネートが摩耗し、ざらつきが発生する場合がありますため、取り扱いにはご注意ください。窓掃除用の洗剤は、輪染みの予防・除去としてお使いいただけます。ラミネートの変色につながるため、電化製品向けに作られた酸性洗剤は使用しないでください。もしも表面に付着した場合はすぐに拭き取ってください。

汚れの落とし方

水拭きをしてもきれにならない場合は、中性洗剤を使用してください。適切な量のアルコール、アセトン、ミネラルスピリットを湿らせた布で拭くと、水では落せない汚れを落とすことができます。溶剤を使用した後はきれいな水で拭い、柔らかい布で空拭きします。ラミネート素材向けの一部の溶剤は、クリアラッカー塗装など、ラミネートと組み合わせて使われている素材にダメージを与える可能性がありますのでご注意ください。

避けていただきたいこと

- ✕ 強く擦ること
- ✕ 特定の箇所に強い摩擦をかけると、表面の塗装が不均一になる場合があります 研磨すること
- ✕ メラミンスポンジなどを含む研磨剤の使用
- ✕ 鋭利なもので傷つける行為
- ✕ 高温のものを載せること
- ✕ 染みになるものを放置すること
- ✕ 強アルカリ性洗剤と酸性洗剤の使用

ラミネートのクリーニング方法
ラミネートメーカーFormica IKI Oy推奨

クリーニング	一般的なマルチクリーナー	アルコール(イソプロパノール、ウインドウクリーナーなど)	アセトン
指紋	X	X	
クリーム・オイル	X		
煤・ニコチン	X	X	
墨汁・インク	X		
コーヒー・紅茶	X		
果汁	X		
クレヨン・ボールペン		X	
マーカー		X	X
ニス・のり*			X
口紅・靴用クリーム	X		X
マニキュア			X

* ※2液タイプの接着剤は、除去できない場合があります。





リノリウムについて

リノリウムは、亜麻という花の種から取れる亜麻仁油を原材料としてコルク粉、木粉、石灰岩、天然色素、ジュート、ロジン(松樹脂)などを混ぜ合わせた天然素材から作られています。アルテックが現在使用しているリノリウムの表面は、薄いアクリル層で覆われており、汚れがつきにくい素材です。

日常のお手入れについて

毎日のお手入れとして、水と中性洗剤で湿らせた柔らかい布で表面を拭き、乾かしてください。汚れが酷い場合には、中性洗剤を少量布に取り、汚れを拭き取ります。洗剤をすすいだ後は乾かしてください。リノリウムメーカーのForbolは、石鹼ワックスの使用を推奨しています。

汚れの落とし方

汚れがついてしまったらできるだけ早く取り除いてください。汚れを落とすには、中性洗剤の使用がお勧めです。水に溶けない油汚れなど、中性洗剤では落ちない場合は、ミネラルスピリットや変性アルコールを使用し、湿らせた布で表面を拭いて乾かします。しかし、これらの溶剤を使用することでダメージが生じる場合もあるため、使用する前には必ず目立たないところでテストをしてください。リノリウムメーカーは、小さな傷のお手入れとして、下記の方法を推奨しています。繊維の細かいスチールウールで亜麻仁油を表面に塗り、その後、余分な油を拭き取ってください。

傷のついた箇所をクルミで擦った後、布で磨いてください。

避けていただきたいこと

- ✕ 強く擦ること 特定の箇所に強い摩擦をかけると、表面の塗装が不均一になる場合があります
- ✕ メラミンスポンジなどを含む研磨剤の使用
- ✕ 強アルカリ性洗剤と酸性洗剤の使用
- ✕ アセトンやシンナーなど強力な溶剤の使用
- ✕ 高温のものを載せること
- ✕ 大量の液体をこぼしたり、拭き取らずにそのまま放置すること
- ✕ コーヒーや赤ワインなど、染みのできやすい液体をこぼすこと
- ✕ 鋭利で引っ掛けやすい物の使用
- ✕ 鍋、グラス、花瓶、食器を直接置くこと（コースターや敷物等を敷いて使用してください）



ファブリックについて

アルテックの家具は、さまざまな種類のファブリックを選ぶことができます。ファブリックのメーカーやファブリックの種類によって、それぞれの特徴があります。ファブリック張り製品を長持ちさせるためには、目的に合った素材を選び、メーカー推奨の使用方法やお手入れ方法を守ることが大切です。

日常のお手入れについて

ファブリック製品の基本的なお手入れは、定期的な掃除機がけです。掃除機をかけるときは、適切なノズルを使い、強すぎない吸引で優しくお手入れしてください。また、日焼けを防ぐためにファブリックに直射日光が当たらないようにし、湿気の多い場所での使用はお避けください。クッションなどは、時々方向を変え使用してください。生地の中には防汚加工が施されているものもあります。

洗濯について

家具から取り外せる布地であっても水洗いができるとは限りませんので、お洗濯の前に必ず洗濯表示の確認をお願いします。また、見えない部分でテストをしてからお洗濯されることをお勧めします。洗う際にはその布地に適した洗剤を使用してください。洗った後、手でファブリックの形を元に戻し、風通しの良い場所で乾燥させます。家具から取り外し可能なファブリックは、洗った後、湿ったままの状態では家具に戻し、乾燥させてください。防水加工が施されているものでも、洗濯の際はドライクリーニングをおすすめします。取り外しのできないファブリックに関しては専用の洗剤等を別の布に染み込ませ、汚れをおふき取ってください。また、水洗いは色落ちや縮みの原因にもなります。ほとんどのファブリックは洗濯後に多少縮み、天然繊維は合成繊維と比べ縮みが大きい場合がありますので、クリーニング店などでの洗濯をお勧めします。

汚れの落とし方

埃や薄い汚れは、掃除機をかけて取り除きます。合成繊維の汚れは、湿った布で拭きとることで簡単に落とすことができます。天然繊維の場合は、まず布地の見えにくい部分で洗剤を試したのち、洗剤やシミ抜き剤を使って汚れを取ってください。ウールの汚れについては、ぬるま湯と中性洗剤に浸し、固く絞ったタオル等の布を汚れの上から軽く叩くように拭くと、汚れが落ちやすいです。

避けていただきたいこと

- ✕ 漂白剤の使用
- ✕ 乾燥機の使用
- ✕ 強く擦ること
- ✕ 鋭利なもので傷つける行為
- ✕ 水をかけたり、湿気の多い場所での使用
- ✕ 特定の箇所に強い摩擦をかけること
- ✕ 紫外線や直射日光の当たる場所での使用
- ✕ 詳しくは、ファブリックの製造元にお問い合わせください。

アルテック ファブリック製品のお手入れ方法

	コットン生地	コーテッドコットン生地	キャンバスコットン生地
素材	コットン100%	コットン100% ビニールコーティング	コットン100%
重さ	180 g/m ²	220 g/m ²	280 g/m ²
幅	150 cm	145 cm	150 cm
耐光性	Type 6-7 (On a scale from 1-8)	Type 6-7 (On a scale from 1-8)	Type 6-7 (On a scale from 1-8)
耐擦傷性	Grade 4.5 dry and wet (On a scale from 1-5)	Grade 4.5 dry and wet (On a scale from 1-5)	Grade 4.5 dry and wet (On a scale from 1-5)
洗濯表示			
備考	椅子の張地としてお勧めしません	椅子の張地としてお勧めしません	椅子の張地としてお勧めしません



液温は 40°C を限度とし、洗濯機で洗濯ができる



パークロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングができる



塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止



タンブル乾燥禁止



底面温度150°C を限度としてアイロン仕上げができる



底面温度 200°C を限度としてアイロン仕上げができる



レザーについて

アルテックの家具の張り地には、様々な種類のレザーを使用しています。そのほとんどが表面保護加工を施したのですが、表面保護加工を施していない天然のレザーや着色レザーも採用しています。アルテックの家具に使われている最も一般的なレザー、SorensenのPrestigeとEleganceは、汚れや水、油分に強い表面保護加工が施されています。また、品質の高いアニリンレザー（Sorensen Elegance）などは天然のままのものが多く傷や色などの素材の経年変化が楽しめます。

日常のお手入れについて

革製品のお手入れには、石けんまたは革張り用に特別に作られたクリーニング剤を使用してください。多目的クリーナーは革にダメージを与え、ワックスなどの表面処理は毛穴を塞ぎ、自然な通気性を妨げる可能性があります。また、定期的に、湿らせた布や柔らかいスポンジで革についたホコリを拭き取り、その後、掃除機でのお手入れをおすすめします。直射日光やストーブなど熱源の近くでの使用を避けてください

避けていただきたいこと

- × 溶剤及び溶剤洗浄剤の使用
- × 酸性洗浄剤の使用
- × 研磨剤の使用
- × 直射日光や熱風をかけること
- × デニムなど、色が移りやすいファブリックの使用
- × 汚れた手での使用
- × 革を濡らしたり、濡れた革をこすること

汚れの落とし方

スポンジや布に中性洗剤を含ませて汚れをこすらずに軽く叩きます。水で湿らせた布で拭き取り、その後、乾拭きしてください。レザーメーカーのソーレンセンは、石鹼を泡立てて洗浄することを推奨しています。



ウェビングについて

アルテックが使用しているウェビングはリネン100%です。2019年に、品質と耐久性、カラーバリエーションを更新しました。以前は防汚処理が施されていましたが、新しいものは化学薬品を一切使用していません。また、ウェビングを使用した製品は張り替えが可能です。

日常のお手入れについて

専用のノズルを使用して、優しく掃除機をかけます。汚れは中性洗剤で汚れを落とし、水拭きしたのち、乾燥させてください。

避けていただきたいこと

- × 紫外線や直射日光の当たる場所での使用
- × 特定の箇所に強い摩擦をかけること
- × 濡れた状態で生地を伸縮させること
- × 生地が完全に乾かないうちに使用すること

For more info,
please visit
artek.fi

 **Artekglobal**

 **Artekglobal**

 **Artek**

artek